

一月廿一日午後二時ヨリ府下大崎町居木橋一四八ハ
崎労働會館(爭議團本部)ニ於テ開催セリ爲會者十
六名(中唐四等職工五名
同東リマス工組合四) 其他東京鉄工組合支部員ニシテ
植田重義ノ開會ノ辞ニ始マリ開東合同春日覬良
鉄工土井直作市電自治會藤原伊之助外大崎各支部員
十三名ノ演說アリタルガ爭議團員ハ經過ヲ報告シテ
多教ノ應援ヲ謝シ吾人ノ正當ナル要求貫徹スル迄ハ
一步モ退カザル決心ヲ示シ尙ホ後援ヲ望ム旨挨拶セ
ルカ應援者側ノ演說ヲ綜合セバ「高砂ノ足弟が正當
ル要求ニ對シ會社ガ之レヲ拒絶セルハ労働階級ニ就
テ幾セリト見ルベキナリ吾人ハ本爭議ガ不利トナル
合ハ金カヲ擧ゲテ應援スバシカ一慘敗スルカ如キ事

アレバ大崎方面ノ資本家ハ好機逸スベカラズトシテ
組合壊滅ノ態度ニ出ヅベキハ必定ナリト資本家ヲ罵
倒シ更ニ吾人ノ戦ヒニハ常ニ警察ノ壓迫アルハ彼ノ
大及天王寺公會堂ニ於ケル失業者大會ヲ蹂躪シタル
例ニ見テ明カナリト警察攻撃ニ轉ジ最後ニ團結ノ女
要ヲ力説シテ女勝ヲ期スベシト激励セルガ土井直作
ハ社会制度ノ不合理ヲ推ジ社会改革云々ト論旨矯激
ニ亘ル虞アリシヲ以テ臨監警察官ニ於テ中止ヲ命ジ
タルガ場内動揺スル事無ク午後四時散會セリ

三 會社側ノ態度

会社ハ廿七日ヨリノ欠勤者八十名中罷業参加者七十
五名ト認め一月廿九日付ヲ以テ二月三日迄ニ出勤セ